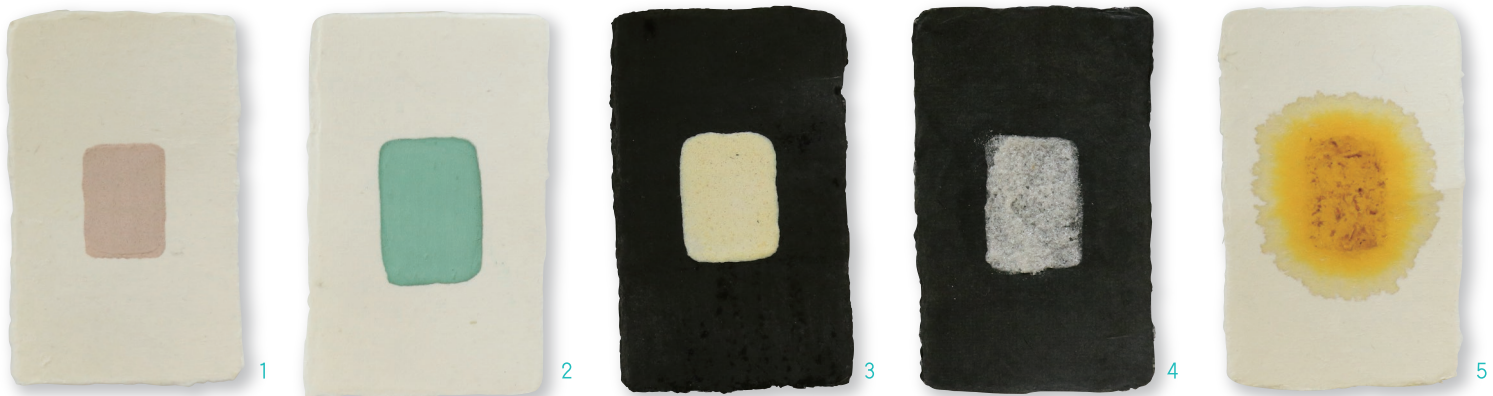
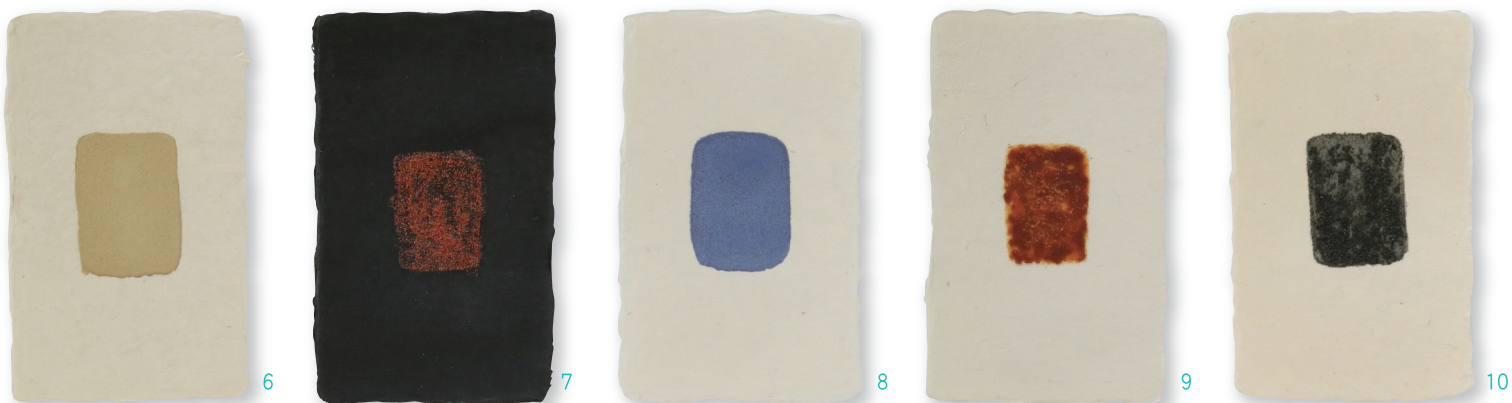


海色・山色・これって何色？

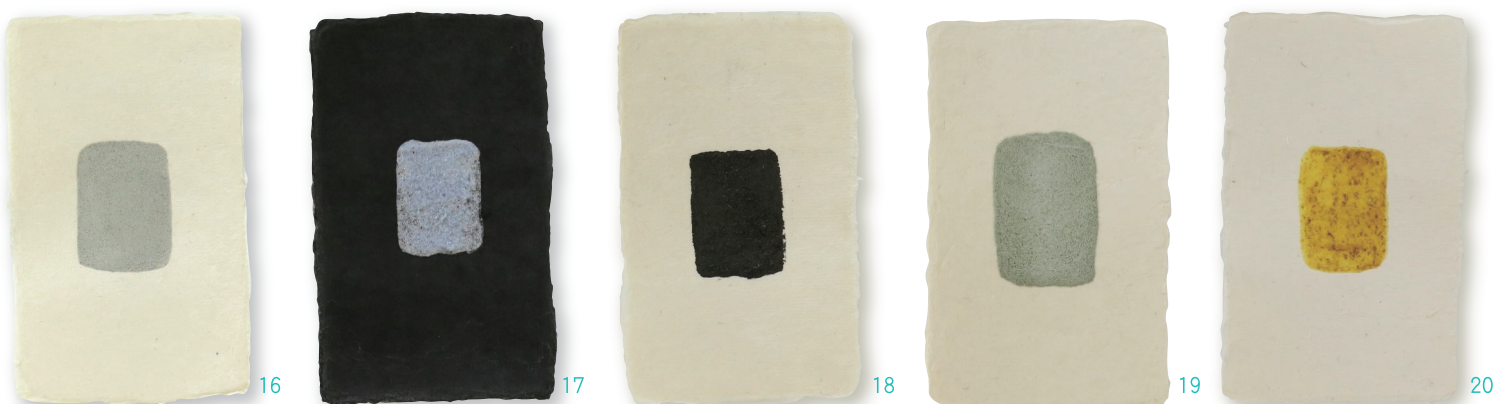
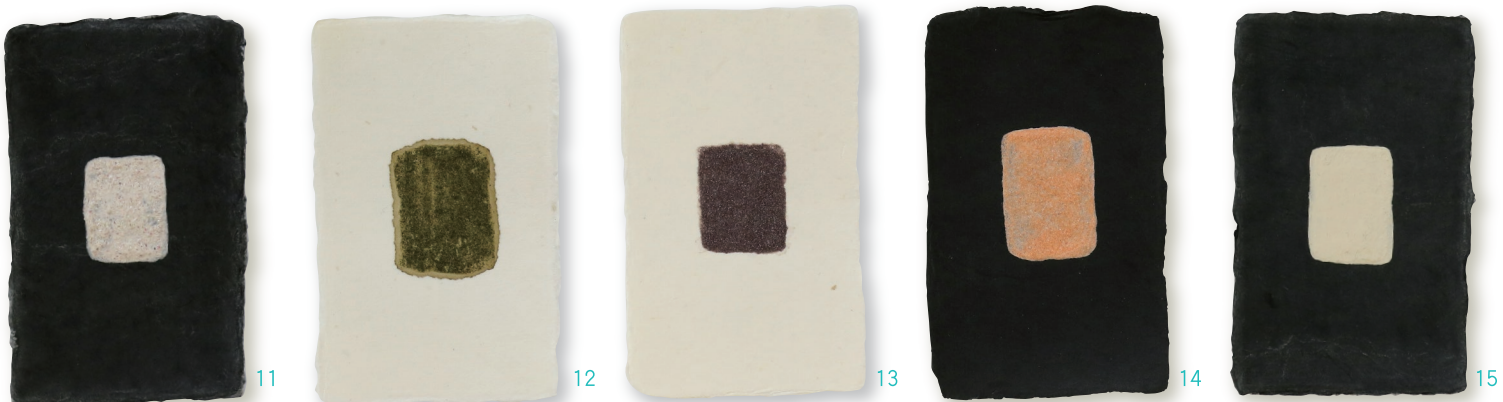


高知サマープロジェクト2024

Color Lab



色の実験室



2024(令和6)年

7月8日[月]~9月14日[土] 9:00~17:00 (入場は16:30まで) 入場無料

高知県立美術館

《会場》高知県立美術館1階 展示室D 《主催》高知県立美術館(公益財団法人高知県文化財団)

THE MUSEUM OF ART, KOCHI

《特別協力》COSA(大月町文化交流拠点) 《後援》高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知新聞社・RKC高知放送

781-8123 高知市高須353-2 ☎088-866-8000 ♻088-866-8008 moak.jp



海色・山色・ここからできた。

チラシの表紙に並ぶのは、いろいろな素材から作った絵具を和紙に塗った色見本。同じ番号の素材を探して、それぞれの色が何からできているのか見てみよう!

- 1.土佐桜 2.孔雀石 3.ヒオウギガイ 4.水晶 5.クチナシの実 6.流紋岩 7.ウミウチワの付着物 8.ラピスラズリ 9.フルティカトマト 10.硯石 11.カタヘガイ
- 12.蚕糞(こくそ) 13.ムラサキウニのトゲ 14.チアカサゴ 15.タガヤサンミナシ 16.蛇紋岩 17.ガラス瓶(青) 18.コウゾの墨 19.緑色片岩 20.イタモジホコリ(真性粘菌)

色の実験室

Color Lab

「日本画」の色は、どのようにして塗られているのでしょうか？

日本では古くから**色の粉(顔料)**とそれを画面に付ける**接着剤(ニカワ)**を混ぜ合わせて絵具を作ってきました。これは1000年以上も前に中国大陸、朝鮮半島を経由して日本に伝わった歴史のある技法です。

日本で長く使われてきたこの絵具は、山や海でとれる様々な自然素材を原料としています。藍銅鉱という石からとれる「青」、水晶やカキの貝殻からとれる「白」、サンゴからとれる「淡いピンク」、カイガラムシという虫からとれる「えんじ」…これらの素材から色の粉を取り出し、ニカワ(膠)という動物の皮や骨を煮出したコラーゲンを使って画面に付けることで、昔の人々は彩り豊かな絵画を描きました。驚くことに、その基本的な手法は現代にいたるまで変わらず受け継がれています。まさに自然はずっと絵具の素材の宝庫だったのです。

今回で6回目を迎える「高知サマープロジェクト」では、高知で活動する日本画家の越智明美さんをコーディネーターとして招き、高知の豊かな自然を手がかりに新しい絵具づくりの可能性を探ります。たとえば大月町の海でとれるウニのトゲ、越知町の横倉山でとれる薄桃色の大理石「土佐桜」…高知の海や山で採集できるこれらの素材を使うと、どのような色ができるのでしょうか？高知の自然、そしてもっと身近な場所に隠れているいろいろな「色」を通して、私たちを取り巻く世界に目を向けてみる夏休み企画です。

※明治時代以降「西洋画」と日本の伝統絵画を区別するために生まれた呼称。現在では顔料を膠で溶いて塗る技法を用いて描かれた絵画一般を指すことが多い。

高知の海の色

- ヒオウギガイ
- ①中土佐町久礼
- ②モフモフイエロー色、モフモフパープル色



何からつくる？

高知や世界のいろいろな場所から採集した素材たち。これらの素材から作る色に名前を付けてみたよ。どんな色なのか、想像してみよう！

- ①採取場所 ②色名



- 水晶**
- ①土佐清水市脇の川
- ②漿液(じよるい)色



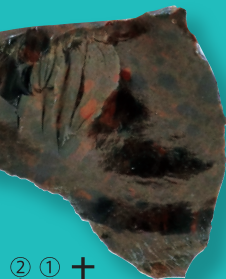
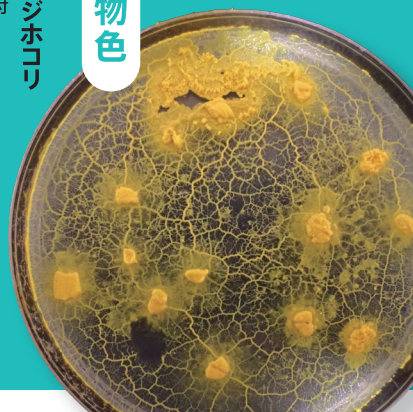
- 硯石(すずいし)**
- ①土佐清水市下ノ加江
- ②硯に向かひて色



- チアカサンゴ**
- ①大月町
- ②血赤珊瑚色

生物色

- イタモジホコリ
- ①大阪府
- ②イタモジイエロー色



- 十勝石**
- ①北海道
- ②十勝ネズミ色

旅の色

- サハラ砂漠の砂
- ①エジプト
- ②砂丸色



グリーン

- ①?
- ②空緑色



ゴールドストーン

- ①?
- ②空緑色

ビードロ色



日本画材

- ラピスラズリ
- ①アフガニスタン
- ②ラピスラズリ色

大地との対話色

- リチア雲母
- ①ブラジル
- ②夕焼け鱗雲(うろこ)色



高知の山の色

- チャート
- ①いの町仁淀川
- ②赤チャー色



探して 砕いて 練って 塗る



1. 探す

鉱物、土、貝殻…さまざま自然の素材が絵具の原料。



素材を粉末状にくだき、顔料にする。方法は素材や絵具を作る量に応じて色々。



2. 砕く



3. 練る

絵皿の上で顔料と接着剤(膠)を練り合わせる。



4. 塗る

練り合わせたものに水を少し足せば、筆で塗れる絵具のできあがり！

Event 関連企画

先着15名・要予約のイベント

お早めにお電話(088-866-8000)にて申してください。

海の日ワークショップ 海を知り、海色を使って描こう

講師：中地シュウ(海洋生物研究者) 越智明美(日本画家)

海洋生物について学びながら、高知の海の素材を使った絵具で絵を描いてみよう！

7月15日(月) 13:30~15:30

1階創作室/定員15名(高校生以上)/参加費1000円

申込締切:7月8日(月)17:00

山の日ワークショップ 山色を作って描こう

講師：越智明美(日本画家)

高知の山の素材を使った絵具で絵を描いてみよう！

8月11日(日)13:30~

1階創作室/定員15名(高校生以上)/参加費1000円

申込締切:8月4日(日)17:00

予約不要のイベント

直接会場におこしください。

ギャラリートーク 色についていろいろおしゃべり会

田中亨(公益社団法人 日本顕微鏡学会)

講師：越智明美(日本画家) 中谷有里(当館学芸員)

顕微鏡で絵具の原料を見るとどう見える？ 顕微鏡の専門家と一緒にミクロな視点から絵具を楽しめるトークイベント。

8月4日(日) 13:30~15:30

1階展示室D

スペシャル・レクチャー 天然顔料のお話

講師：橋本弘安(女子美術大学名誉教授)

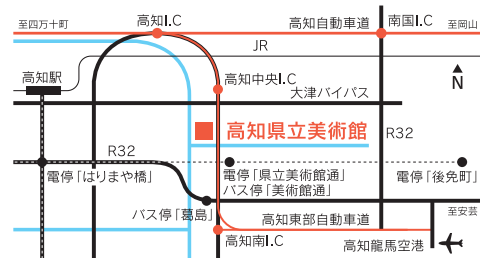
30年以上にわたり現代の技術とともに天然顔料(岩絵の具)を作り、作品に活かしてきた画材研究の専門家によるレクチャー。

8月8日(木) 13:30~15:30

1階講義室/定員30名程度

高知県立美術館 THE MUSEUM OF ART, KOCHI

781-8123 高知市高須353-2 ☎088-866-8000 ☎088-866-8008 moak.jp



■とさでん交通路面電車「はりまや橋」から「ごめん」「銀石通」「文珠通」行きで15分、「県立美術館」下車徒歩5分 ■高知龍馬空港からは、高知市内一空港間を結ぶとさでん交通の空港連絡バスをご利用いただけます。バス停「葛島」で下車徒歩16分 ■車・タクシーをご利用の場合は、JR高知駅から15分、高知龍馬空港から20分、高知インターから10分(高知東部自動車道方面からは降りられません)、高知中央インターから3分、高知南インターから10分

★会場では、いつでも「土佐桜」を使った絵具を塗る体験ができます。